主 催　公益財団法人 腸内細菌学会

第29回 腸内細菌学会学術集会
第2回 IgA 抗体医療学会　合同大会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

腸内細菌と宿主分子の相互作用を複雑系として捉える

開催日

2025年
6月23日(月) » 24日(火)

(25日(水) 第2回 IgA抗体医療学会)
詳細はホームページ参照

会　場

タワーホール船堀
東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長

新藏 礼子
(東京大学定量生命科学研究所 教授)

早期申込
3/3～6/2　会員 9,000 円　一般 13,000 円　学生会員 1,000 円　学生(一般) 2,000 円

通常参加費　会員 11,000 円　一般 15,000 円　学生会員 1,500 円　学生(一般) 2,500 円
6/3～6/24　(要旨集：個人会員・一般・学生無料配布)

腸内細菌学会で参加登録いただくと、6 月 25 日開催の IgA 抗体医療学会にも参加可能です。

腸内細菌学会ホームページ
https://bifidus-fund.jp/

IgA 抗体医療学会ホームページ
https://siat.site/

一般演題（若手ワークショップ、ワークショップ）申込要領

一般演題は若手ワークショップ、ワークショップ形式で発表されることとなりました。若手ワークショップでは口頭発表に加えポスター発表をしていただきます。ワークショップは原則的に口頭発表となりますが、演題申込が多数の場合、ポスターでの発表に変更をお願いする場合があることをご了承ください。

腸内細菌をはじめとする腸内微生物の生態、分類および機能・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください（メインテーマと関連がなくても結構です）。若手研究者・新規研究者の発表の場として非会員にも開放しております。

本大会の一般演題は、大会 1 日目午前中に【若手ワークショップ】（8 分程度の口頭発表［質疑応答含む］）と、【ワークショップ】（13 分程度の口頭発表［質疑応答含む］）を 2 つの会場で並行して行う予定です。若手ワークショップは口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、若手ワークショップの中から本学会選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」（表彰状および副賞）が贈られます。

① 申込方法　・抄録用原稿を E-Mail にてお送りください。メール本文には「ワークショップでの発表希望」など、どの演題希望なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

! 抄録用原稿および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け、成分名、一般名等にて記載ください。

若手ワークショップ

- 2025 年 6 月 23 日現在で 30 歳以下または学生の方を対象とします。
- 抄録用原稿は、第 29 回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Word ファイル）をダウンロードして作成してください。
- 抄録の長さは A4　1 枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- 本文の長さは和文 1,000 文字または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。

和文タイトル
英文Title

○腸内太郎[1]，腸内花子[2]
[1]腸内大学研究所，[2]株式会社 腸内細菌

【目的】…
【方法】…
【結果】…
【考察】…

- 締切：**2025 年 1 月 31 日（金）必着** にて下記事務局までお送りください。

ワークショップ

- 抄録用原稿は、第 29 回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Word ファイル）をダウンロードして作成してください。
- 抄録の長さは A4　1 枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- 本文の長さは和文 1,000 文字、または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- 締切：**2025 年 1 月 31 日（金）必着** にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間

若手ワークショップ　**6 月 23 日（月）　小ホール（予定）**

大会第 1 日目午前中のセッションでの口頭発表（5 分発表 + 3 分質疑応答）と同日午後にその講演のポスター発表（60 分程度）になります。

※同日に行われる情報交換会にて、最優秀発表賞の表彰を行います。

ワークショップ　**6 月 23 日（月）・24 日（火）　大ホール（予定）**

大会第 1 日目午前中と 2 日目午後のセッションでの口頭発表（10 分発表 + 3 分質疑応答）となります。

※ 演題申込が多数の場合、ポスターでの発表に変更をお願いする場合があることをご了承ください。

※ 発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人　腸内細菌学会事務局
〒 170-0002　東京都豊島区巣鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669　FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス　jbf@ipec-pub.co.jp
ホームページ　https://bifidus-fund.jp/

⑤ その他

発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

また、発表者の皆様には、ご発表に際し「利益相反（COI）」に関する開示をお願いいたします。発表スライドまたはポスター中にCOIの有無について公表してください。企業に所属の場合は、別企業と COI 状態にある場合に開示してください。

当財団の「利益相反（COI）」開示方法については、「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反（COI）について」をご参照ください。

（https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf）

学会スケジュール（予定）

6月23日（月）　第1日

9:55～10:00　**開会の挨拶**　大会長　新藏　礼子（東京大学定量生命科学研究所 教授）

10:00～12:00　**若手ワークショップ　口頭発表**　（小ホール）

ワークショップ　口頭発表　（大ホール）

※ワークショップの申込が多数の場合は、一部翌日24日（火）に行う予定です。

（12:00～13:00　昼食休憩）

13:00～13:50　**理事長講演**　（大ホール）

大野　博司（理化学研究所）

「宿主－腸内細菌相互作用と疾患」

13:50～14:40　**海外特別講演**　（大ホール）

Gregory Donaldson (California NanoSystems Institute, Goodman-Luskin Microbiome Center, UCLA)

“Functions of homeostatic IgA in the colon”

14:55～15:05　**研究奨励賞授賞式**　（大ホール）

15:05～15:25　**受賞講演 1**

15:25～15:45　**受賞講演 2**

15:45～16:35　**特別講演**　（大ホール）

塩田　淳（慶應義塾大学）

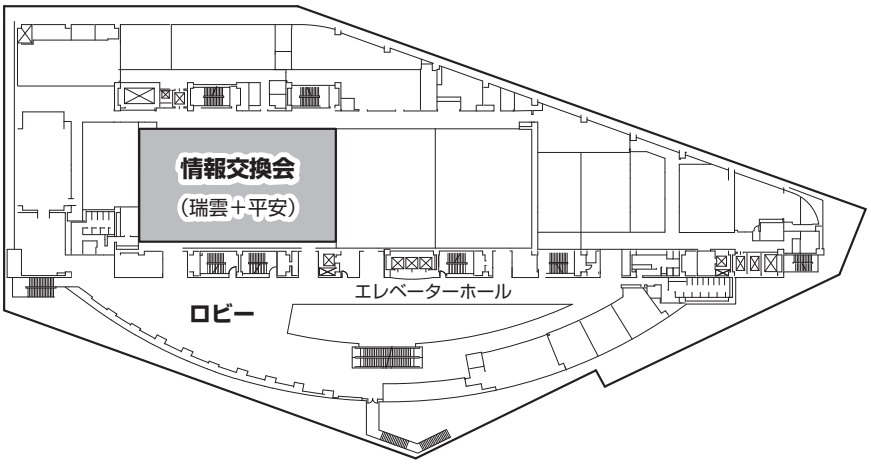
「マイクロバイオーム創薬における生菌製剤化技術と有効性評価」

16:45～17:45　**ポスター発表**　（1F 展示ホール）

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた
質疑応答タイム

18:00～19:30　**情報交換会（2F 瑞雲・平安）**（予定）

皆様奮ってご参加ください。



第1日
6月23日
（月）

市民公開講座『腸活と健康』

13:30 ～ 15:30（小ホール）（オンデマンド配信も予定）

辨野　義己（辨野腸内フローラ研究所）

「健康寿命を延伸する最高の腸活」

木村　郁夫（京都大学）

「発酵食品による健康効果と細菌叢」

司会：平山 和宏（東京大学）

学会スケジュール（予定）

6月24日（火）　第2日

9:30～12:00　**シンポジウム1**　（大ホール）

『健康食品・マイクロバイオーム創薬をテーマとした社会実装』

1. **大野　和也**（森永乳業株式会社）
   「認知機能改善作用を有するビフィズス菌 MCC1274 の作用機序解明と臨床応用」
2. **利光　孝之**（株式会社明治）
   「乳酸菌 OLL2712 を配合した発酵乳の慢性炎症抑制を介した血糖コントロール改善とその社会実装」
3. **朝原　崇**（ヤクルト中央研究所）
   「シンバイオティクスの医療への利用」
4. **村上　弘樹**（雪印メグミルク株式会社）
   「睡眠改善効果を有する *Bifidobacterium adolescentis* SBT2786」
5. **富本　千晶**（Noster 株式会社）
   「ポストバイオティクス HYA 及びその誘導体による新規治療薬の創出」

（12:00 ～ 13:30　昼食休憩）

12:15～13:15　**ランチョンセミナー**　（予定）

13:30～14:30　**ワークショップ**　（大ホール）

14:40～17:10　**シンポジウム 2**　（大ホール）

『腸内細菌により惹起されるヒト疾患』

1. **小井戸　薫雄**（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
   「膵臓がんと腸内細菌」

2. **飯田　宗穂**（金沢大学附属病院）
   「腸内細菌叢と肝癌、癌内細菌」

3. **中岡　良和**（国立循環器病研究センター）
   「腸内細菌叢変容による難治性血管病の病態形成」

4. **山村　隆**（国立精神・神経医療研究センター）
   「多発性硬化症の腸内細菌叢研究：新しい方向」

5. **柴田　龍弘**（東京大学医科学研究所）
   「大腸がんと腸内細菌」

17:10～17:20　**閉会の辞**

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または腸内細菌学会・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH 誌は 2018 年 3 月に SCIE（Science Citation Index Expanded）への登載が決定しました。これにより BMFH 誌に Impact Factor が付くこととなりました。
2023 年の Impact Factor は **2.5** に決まりました。

BMFH Journal Impact Factor 2.5

交通アクセス・マップ
タワーホール船堀

タワーホール船堀までのアクセス（東京都江戸川区船堀 4–1–1）　**都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分**

電車をご利用の場合

- **新宿駅** → 都営新宿線　約 30 分（急行 約 21 分）→ 船堀駅
- **東京駅** → JR 総武線快速 約 5 分 → 馬喰町駅 → 徒歩 約 2 分 → 馬喰横山駅 → 都営新宿線 約 15 分（急行 10 分）→ 船堀駅
- **東京駅** → JR 山手線 約 4 分 → 秋葉原駅 → 徒歩 約 5 分 → 岩本町駅 → 都営新宿線 約 17 分 → 船堀駅

空港から電車をご利用の場合

- **羽田空港** → 東京モノレール 約 4 分 → 浜松町駅 → 徒歩 約 4 分 → 大門駅 → 都営大江戸線 約 15 分 → 森下駅 → 都営新宿線 約 11 分 → 船堀駅
- **成田空港** → 京成本線 約 60 分（特急）→ 京成八幡駅 → 徒歩 約 4 分 → 本八幡駅 → 都営新宿線 約 11 分 → 船堀駅

空港からバスをご利用の場合

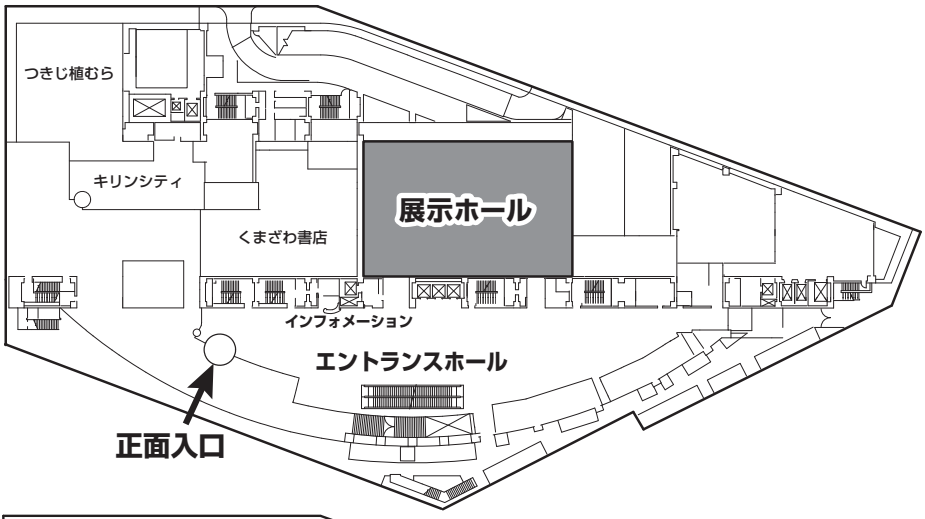
- **羽田空港** → リムジンバス　約 40 分 → 一之江駅 → 都営新宿線 約 2 分 → 船堀駅
- **成田空港** → 京成バス　約 60 分 → 一之江駅 → 都営新宿線 約 2 分 → 船堀駅

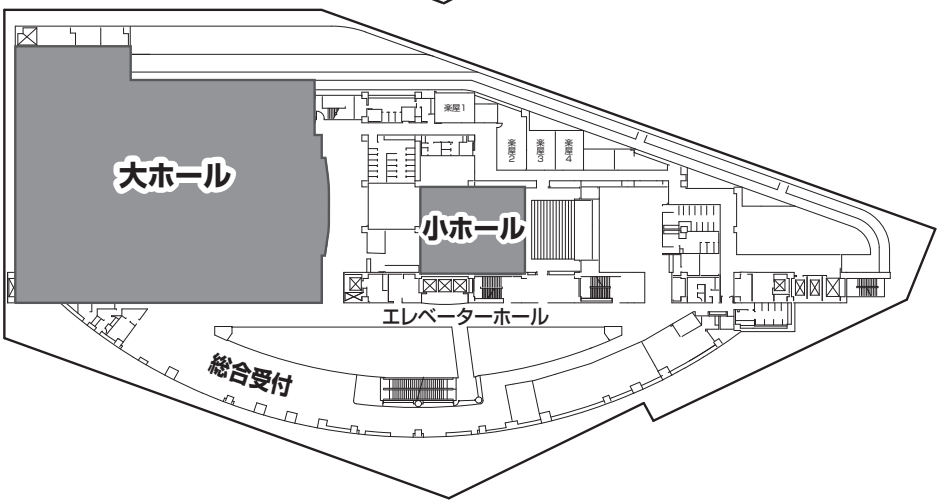
船堀駅 → 徒歩 約 1 分 → タワーホール船堀

会場案内図

1 F

- ポスター発表
- 企業展示
- 製品提供
- インターネットコーナー



5 F

- 講演会場
- シンポジウム
- 市民公開講座
- 受付